

2018年1月

遺産相続における相続と贈与のベストミックスの検討

経営学部 経営学科 石田ゼミ
B4R11158 平田良知

【卒論概要】

平成27年に相続税法の改正が行われ、基礎控除額が大幅に減少した。そのため、改正前の相続税法では相続税を支払う必要のなかった人も今後相続税を支払わなければならない、課税対象者数が大幅に増えることが予想されている。相続税は、従前の一部の金持ちが払う税ではなく、身近な税になったといえる。

本論文の目的は、遺産相続における相続と贈与のベストミックスを明らかにすることである。

まず、相続税と贈与税の基本的な概要を明らかにした。次に、ある特定の事例を用いて遺産相続時の税金額についてシミュレーションを行った。そして、被相続人が死亡する前から贈与を計画的に行うことによる節税額を具体的に明らかにした。さらに、多様なケースでの節税方法を検討した。